AGUA

船舶に最適な防錆処理剤

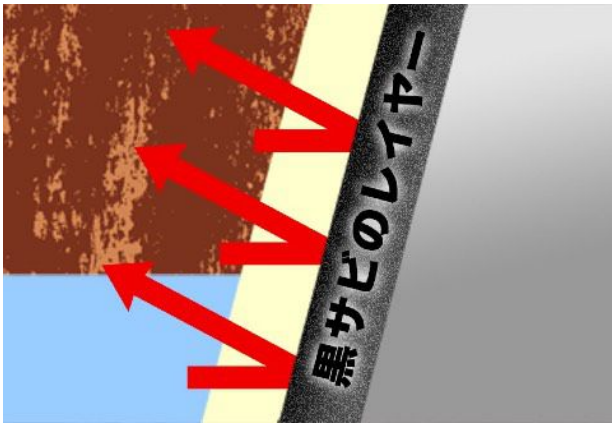
AGUA MG100

船で使うものだから
船の上で
長期検証しました

AGUA　MG100（通称：アグアマリンガード）は船舶や海洋構造物などシビアな環境に最適な新しい防錆処理剤です。海上で通用する本物の実力を確保するため、実際に運航されている外航船舶のデッキ・パイプ・バラストタンクなどで30ヶ月にも及ぶロングラン実地検証を経て製品化されました。強力な防錆力はもちろん、高い作業性を両立。トータルなメンテナンスコストの削減を実現します。

★赤サビによる腐食を防ぐ独自の錆転換メカニズム★

AGUA　MG100　はサビた部分にそのまま塗ることで赤サビを黒サビ（マグネタイト）に変換。安定した性質を持つ黒サビ被膜が、鋼板を腐食から強力にガードします。



画像は参考用の模式図です

抜群の防錆力

独自の成分により赤サビ層に着実に浸透。生成される黒サビ層が、効果的に鋼板を腐食から守り、新たなサビの発生を防ぎます。

すばやく乾く

気温20℃の環境において、約1時間(*)で塗り重ねが可能になります。上塗り塗料を選ばず、ワークフローを最適化できます。

省力化に貢献

扱いやすい1液型で、下地処理も最小限でOK。乗組員を面倒なケレン作業から解放し、大幅な省力化を本船上で実現します。

(* 標準的な条件における当社算定数値)

背景画像：(上) MG100 を塗布していないハッチカバー (下) MG100 を塗布したハッチカバー
（実地検証を行った石炭運搬船で撮影）

ラボでの試験結果 A (単膜比較試験：SPCC鋼板・塩水噴霧連続480時間 @35℃ x 98%RH)

ラボでの試験結果 A (複合膜比較試験：SPCC鋼板・塩水噴霧連続480時間 @35℃ x 98%RH)

用途：

船舶（甲板・船艙・バラストタンク・パイプ等）、港湾荷役装置、海洋構造物、FPSO、石油タンク、フォークリフトなど厳しい環境下にある鋼板の赤サビによる腐食防止

製品性状：

種別	変性エポキシ剤をベースとする1液型の錆転換・防錆剤
色	クリア
容量	16kg / 3.6kg / 0.9kg缶

標準塗装仕様：

工程	説明・条件など	標準所要量 (g/m2)	希釈	標準膜厚	塗装間隔
適用方法	ハケ、ローラーまたはスプレー				
下地処理	浮き錆や旧塗膜をスクレーパーやワイヤーブラシ（または可能であれば電動工具）で取り除きます。詳細は製品取扱説明書を参照してください。	-	-	-	-
塗布1層目	約 160~200㎡ / 16kgあたり	80〜100	なし	10-13μ	1 時間 (20℃)
塗布2層目	約 160~200㎡ / 16kgあたり	80〜100	なし	10-13μ	1 時間 (20℃)
上塗り塗装	上塗り塗料の仕様に準拠	同左	同左	同左	同左

注意：

上記は標準的な数値です。実際の数値は製品や環境条件によって異なります。

使用にあたっては、必ず安全データシート（SDS）および製品取扱説明書をよく読んで作業してください。

AGUA

株式会社アグアジャパン

〒105-0003 東京都港区西新橋1-11-5 西新橋福徳ビル 6F
電話：050-5799-4569
https://www.aguajapan.co.jp/
info@aguajapan.co.jp

本カタログ記載の情報や数値の正確性については万全を期しておりますが、保証はいたしかねますのでご了承ください。仕様や性状などについては予告なく変更することがあります。 (10.01.2024)